

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.4

発行
社団法人 青森県畜産協会

全国草地畜産コンクールは、平成8年から始まり、その趣旨は「自給飼料の効率的な生産及び利用技術並びに調和した持続的生産・経営方式等の優秀な事例を広く紹介し、飼料基盤の重要性を啓発し経営の安定に資する」ことを目的としています。今回、全国から7事例が審査され、本県からは十和田市の奥瀬牧野畜産農業協同組合が「農林水産省生産局長賞」を受賞されましたのでご紹介します。



奥瀬牧野畜産農業協同組合
組合長 関 善一

第14回全国草地畜産コンクールの受賞を賜り、関係各位に御礼申し上げます。
当牧場は、昭和26年に集落の里山牧場として開設されて以来、50年以上にわたり地域密着型のきめ細かい管理とサービス提供に心がけてきました。

また、県営草地開発事業や十和田地区林野活用モデル事業などを活用し、草地基盤の拡充と施設整備の強化を進めてまいりました。

これらの事業については、組合員による慎重な検討を重ねながら、よりよい牧場経営の実現を目指して実施してきました。おかげさまで、現在の放牧頭数の維持、増頭につながっているものと確信しております。

さらに、公共牧場に求められる重要な機能である「受胎」について、かつては特定の看視人の技術に頼っていた体制を、後継者育成のため常時ベテランとの2人で作業するよう一新しました。これは、将来にわたり高い受胎率の確保が保証されたことを意味していると同時に、組合員の安定所得にも貢献するものです。

このような条件のもとに牧場経営を進めていけば、まさしく前途洋々の未来が予想されるのですが、近年の飼料・燃油・肥料高騰、担い手の減少、牛肉価格の安値安定などの状況を考えると、危機感が募るばかりで何から手を付ければいいのか困惑する次第です。

このため、十和田市内8牧場（5管理団体）で協力し、お互いの牧場経営で何が問題でどのような解決方法があり、協力できることは何なのかを協議する「十和田市公共牧場再生協議会」が設立されました。まだ、協議会の運営は手探り状態にありますが、関係機関の協力を得ながら、問題解決に向けて8牧場で取り組んでいきたいと考えています。

最後になりましたが、これまで当牧場を支えてきてくださった関係機関、組合員の皆様、今後も一層の御協力をお願いするとともに、受賞に当たってのお礼を申し上げます、受賞者の言葉といたします。

ありがとうございました。

奥瀬牧野畜産農業協同組合の概要

- (1) 設立年月：昭和26年10月
- (2) 構成人数（組合員数）：52人（代表：関 善一）
- (3) 設立目的：公共牧場を活用した畜産経営改善及び飼料自給率の向上
- (4) 主な活動内容：公共牧場の管理運営、人工授精の実施、乾草（ロール）等生産及び肉用子牛生産販売
- (5) 放牧料金等：成牛 158円/日 子牛 53円/日（いずれも組合員料金）
- (6) 草種・品種：イネ科牧草主体
牧場面積：383ha（うち採草面積：67ha）



八甲田山系をバックにした放牧風景

第14回全国草地畜産コンクール受賞者

【農林水産大臣賞】

＜飼料生産部門＞
上田尻牧野組合（熊本県産山村）

【農林水産省生産局長賞】

＜放牧部門＞
（有）レークヒル牧場（北海道洞爺湖町）

＜放牧部門＞
奥瀬牧野畜産農業協同組合（青森県十和田市）

＜飼料生産部門＞
長恒 充（岡山県真庭市）

【(社)日本草地畜産協会会長賞】

＜飼料生産部門＞
（有）阿寒グリーンヒルファーム（北海道釧路市）

＜飼料生産部門＞
石筵粗飼料機械利用組合（福島県郡山市）

＜飼料生産部門＞
（有）みずほ農援（茨城県日立太田市）

青森県家畜市場成績（七戸）

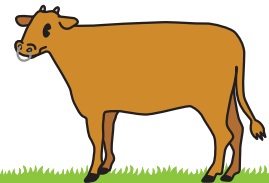
子牛市場

【開催日 22年7月9日】 次回開催日は8月6日(金)です。

税込み【子牛】

（子牛）

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg 単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg 単価	頭数	平均価格		Kg 単価
黒毛和種	雄											
	去	350	636,300	95,550	394,236	302	315	1,252	410	402,624	1,272	-20
	雌	252	868,350	198,450	367,888	312	290	1,267	322	377,240	1,287	-20
	【小計】	602	868,350	95,550	383,206	307	305	1,258	732	391,458	1,278	-20
	主	34	565,950	52,500	365,431	296	284	1,286	32	380,198	1,300	-14



放牧畜産基準認証制度について

放牧は、地域の土地資源を活用する土-草-家畜が結びついた資源循環型畜産として、飼料自給率の向上と地域の環境保全等地域活性化へ向けた取組として位置づけられております。(社)日本草地畜産種子協会では、このような放牧を取り入れた畜産(放牧畜産)を普及推進するため平成21年から「放牧畜産基準」を制定しその実施に努めていることからご紹介します。



放牧畜産基準

目 的

放牧畜産を実践する牧場(放牧畜産実践牧場)が消費者の指示を得るため、生産過程等において守るべき飼養管理事項について、全国を対象とした基本的な基準として設定しています。

主要な項目と内容

- 適用対象：酪農経営と肉用牛(繁殖)経営
- 家畜の由来：自家生産・育成家畜(原則)、条件付き外部導入可
- 放牧管理：草地条件に対応した放牧地面積、放牧期間(時間)等
- 舎飼管理：畜舎内飼養管理時の対応・措置、順守事項
- 採草地・放牧地・飼料畑の管理：自家堆肥の使用促進、農薬使用の制限・法令順守
- 繁殖管理：繁殖手段の規定、医薬品使用の法令順守
- 衛生管理：予防措置の奨励、医薬品使用の法令順守
- 飼養管理等の記帳、開示：14項目の記帳と保存、記帳内容の開示努力
- 情報公開：消費者からの情報開示要求に対する開示



(子牛) 黒毛和種 税込み【子牛】

名号	去勢					雌					合計						
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	数割合	
第1花園	12510	181	409,338	315	1,300	302	126	396,242	291	1,362	310	307	403,963	305	1,324	305	51.0
照神12	12548	4	315,000	304	1,035	295	2	284,025	266	1,070	315	6	304,675	291	1,046	302	1.0
茂重安福	13028	6	382,375	317	1,205	297	4	354,375	281	1,262	303	10	371,175	303	1,226	300	1.7
北平安	13193	4	401,100	316	1,270	311	5	363,300	293	1,242	322	9	380,100	303	1,255	317	1.5
安福勝	13413	4	453,600	327	1,388	297	4	364,613	303	1,203	303	8	409,106	315	1,299	300	1.3
茂勝栄	13487	8	409,238	324	1,264	294	8	327,469	302	1,086	310	16	368,353	313	1,178	302	2.7
奥安福	13627	3	309,750	282	1,100	309	2	315,000	279	1,129	323	5	311,850	281	1,111	314	0.8
第7花姫	13712	13	370,650	327	1,132	293	9	307,767	310	992	301	22	344,925	320	1,076	296	3.7
第2花園	13847	7	361,350	307	1,176	310	6	306,425	269	1,140	321	13	336,000	290	1,160	315	2.2
安平	2208	2	357,000	320	1,116	275	3	622,300	279	2,228	304	5	516,180	296	1,746	292	0.8
平茂勝	2441	5	343,560	306	1,123	307	6	439,775	293	1,500	304	11	396,041	299	1,325	305	1.8
美津福	2748	4	360,675	331	1,090	324						4	360,675	331	1,090	324	0.7
福栄	2886	15	395,640	306	1,291	299	13	314,031	276	1,139	326	28	357,750	292	1,225	312	4.7
安平照	3412	4	421,313	304	1,387	296	1	384,300	280	1,373	341	5	413,910	299	1,384	305	0.8
第2平茂勝	3769	19	394,911	316	1,249	305	15	315,210	281	1,124	324	34	359,749	300	1,197	314	5.7
勝忠平	3800	3	474,250	325	1,459	293	2	370,650	346	1,073	308	5	432,810	333	1,299	299	0.8
安茂勝	4006	19	373,468	319	1,170	305	11	363,109	302	1,202	309	30	369,670	313	1,181	306	5.0
百合茂	4086	4	464,888	323	1,440	307	4	442,838	296	1,496	321	8	453,863	309	1,467	314	1.3
藤平茂	4192	3	383,250	307	1,248	294	4	283,763	273	1,041	312	7	326,400	287	1,136	304	1.2
安福久	4416	7	473,250	322	1,470	298						7	473,250	322	1,470	298	1.2
福安照	4489	8	358,181	311	1,151	295	4	355,163	307	1,156	325	12	357,175	310	1,152	305	2.0
※3頭未満は省略																	
総合計	350	394,236	315	1,252	302	252	367,888	290	1,267	312	602	383,206	305	1,258	307	100.0	

放牧畜産基準の構成

認証の種類とその基準	認証対象者	対象畜産物	表示(表記)
①放牧畜産基準	放牧を実践する酪農及び肉用牛繁殖経営		放牧畜産実践牧場
②放牧酪農牛乳生産基準	放牧酪農牛乳の製造、販売を行う者 (放牧畜産実践牧場のうち、自家、共同プラントで製造、販売しようとする個人或いは生産者組織、乳業会社等)	牛乳(周年)	放牧酪農牛乳
③放牧酪農乳製品生産基準	放牧酪農乳製品の製造、販売を行う者 (放牧畜産実践牧場のうち、自家、共同プラントで製造、販売しようとする個人或いは生産者組織、乳業会社等)	チーズ(周年、以下同様) バター ヨーグルト アイスクリーム	放牧酪農チーズ 放牧酪農バター 放牧酪農ヨーグルト 放牧酪農アイスクリーム
④放牧牛乳生産基準	放牧牛乳の製造、販売を行う者 (放牧畜産実践牧場のうち、自家、共同プラントで製造、販売しようとする個人或いは生産者組織、乳業会社等)	牛乳(放牧期間に限定)	放牧牛乳
⑤放牧乳製品生産基準	放牧乳製品の製造、販売を行う者 (放牧畜産実践牧場のうち、自家、共同プラントで製造、販売しようとする個人或いは生産者組織、乳業会社等)	チーズ(放牧期間に限定、バター以下同様) ヨーグルト アイスクリーム	放牧チーズ 放牧バター 放牧ヨーグルト 放牧アイスクリーム
⑥放牧子牛生産基準	放牧畜産実践牧場に認証された肉用牛繁殖経営(一部酪農経営等)	子牛	放牧子牛
⑦放牧肥育牛生産基準	肉用牛肥育経営(一貫経営を含む)	肉用牛	放牧肥育牛
⑧放牧牛肉生産基準	放牧畜産実践牧場、肥育経営又は一貫経営で、「放牧牛肉」として販売しようとする個人又は生産者組織、食肉加工・卸・小売業者等	牛肉	放牧牛肉



インフォメーション



北海道・東北ブロックの生産者、畜産関係者が集う情報交流会が開催されます!

テーマ 『飼料自給率向上をめざして』

【開催日時及び会場】

日 時：平成22年9月9日(木)

(1)情報交流会 14:00～17:30

(2)意見交換会 17:40～19:30 ※参加費7,000円

会 場：古牧温泉 青森屋

〒033-8688 青森県三沢市古間木山56 TEL 0176-21-5151

飼料用米、TMRセンターなど飼料自給率へ向けた県内の取組発表や、酪農学園大学の須藤純一特認教授による基調講演などがあります。皆さまのご参加お待ちしております。



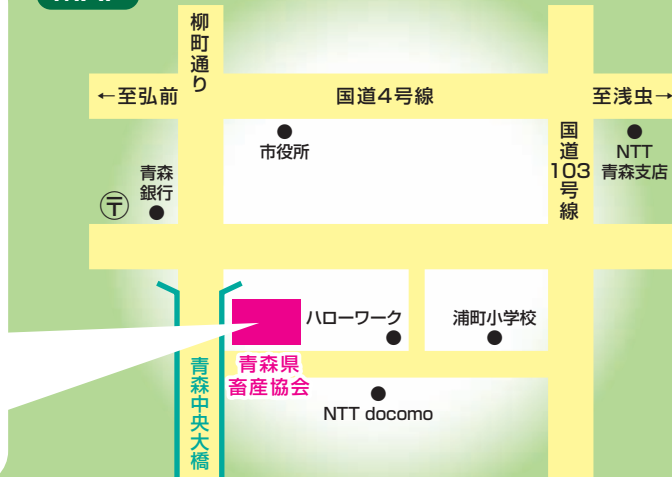
編集後記

宮崎県で飼養されている牛・豚の4分の1、約29万頭の殺処分が伴った口蹄疫が7月27日零時の宮崎市の家畜移動・搬出制限解除をもって終息した。関係者にとって長い日々をつらい経験だった。しかし、ウィルス混入の恐れのある家畜糞尿がまだ残っているとされており、つらい日々が続く農家の心中はいかばかりか。行政に望むのは再侵入に備えた検証と今後の対策の充実を切に望むものである。

ビルの上にいる牛が目印です。



MAP



社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号(畜連ビル)

総務課 TEL(017)723-2523(代)

家畜衛生課 TEL(017)722-4331

経営支援課 TEL(017)723-2775

価格安定課 TEL(017)718-3809

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

E-mail info@aomori.lin.gr.jp